

# 羅針盤

令和6年度 第8号 (通算366号)

令和7年1月20日 (月) 発行

岡山県総合教育センター 企画部

Tel (0866)56-9102 Fax (0866)56-9122

## 学校教育の推進と教職の魅力づくりに向けて ～おかやま教育フォーラムから～

当センターでは昨年11月28日(木)に、岡山教育フォーラムを開催しました。現場の教員だけでなく、**大学生**の参加もありました。当日、講演いただいた國學院大学杉田洋教授、岡山県内の学校関係者からのメッセージを紹介します。



### 杉田教授の講演から

#### 日本型学校教育

「人に役立つことに喜びを覚え、それが働くことにつながる」と今や世界で評価される特活(TOKKATSU)ですが、我々はその当たり前前のねらいやよさを見出しているでしょうか。**学校でしかできない教育とはひとを人の中で人にする事です。**

#### 教職の魅力

子どもと子どもの関係をどのようにしてより良いものにしていくか、一人一人の子どもに集団の中でどのように希望をもたせるかの追求の連続でした。はっきり言えるのはその過程で**子どもたちの姿に心から喜び、感動する子どもたちの顔を脳裏に刻み込むことができ**て、本当にいい仕事だな、ありがたいなということです。

杉田先生が講演でおっしゃったこのような思い、日常に埋もれてしまっていないでしょうか。先生方の生き生きとした姿が子どもたちのロールモデルになるのではないのでしょうか。

### トークセッションから メッセージ

杉田先生の講演の後に教員、行政、企業からパネリストが登壇しトークセッションを行いました。

胸を張って教壇に立つために、準備をしっかりと。

周りの先生と協力して様々な視点で支援や授業づくりを。

もっと社会に出て、子どもと社会をつなげてほしい。

人との出会いが宝。教員同士が交流し、学ぶ場の活用を。

社会の中での本物の学びの実現を目指し、学び続けましょう。



浅口市立六条院小学校 戸川 司 教諭



県立誕生寺支援学校 谷藤 隆行 教諭



岡山経済同友会 代表幹事 梶谷 俊介 氏



瀬戸内市教育委員会 渡邊 裕 参事



県立津山商業高等学校 吉澤 智美 指導教諭

#### 参加者の感想から

- 教師のやりがいや子どもとの向き合い方についてとても勉強になり、春から教師として働く意欲が高まりました。(大学生)
- 特活のよさを当たり前前に捉えず、活かしていないのかもしれないと感じました。「当たり前の意味」を職員とともにもう一度問い直したいと思いました。(小学校)
- 改めて「社会の中の学校とは」「日本の学校が大切にしてきたことこれから大切にすべきこと」等について考えるきっかけをいただきました。このことについて、色々な方と話をしたいと思います。(中学校)
- 教育の原点を再認識しました。子ども理解、人を知り、人の気持ちがわかり、寄り添える。生徒が真ん中になるためにはということを一人だけでなく先生方と共に考え、教育活動を展開していかなければならないと強く思いました。(高等学校)



今回の杉田教授の講演およびトークセッションの動画は3月21日までの期限付きで視聴できます。

動画視聴申込みはこちら

